

モーツアルト盤を聴く(11)(HP 収載)
—最新アナログシステムでの試聴(11)—

1. 始めに

前報(10)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 と ThorensTD124 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-12 と ThorensTD124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

音源は、新たにモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も、アンサンブルの曲です。

PHILIPS 20PC-349

モーツアルト ディヴェルティメント 15 番変ロ長調
ディヴェルティメント 3 番へ長調
アカデミー室内アンサンブル

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

PHILIPS 盤ということで、RIAA、正相、第 4 時定数 High で聴いていきます。

LINN LP-12 の再生では、前報(10)と同様、明るく明晰な音で、アンサンブルの各パートが見えるようなディヴェルティメントらしい生き生きとした演奏です。

ThorensTD124 の再生では、これも艶がありながら、切れ味もある明晰な音で、ディヴェルティメントらしい生き生きとした演奏です。

3. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレーク、Crystal E の導入および ThorensTD124 のターンテーブルシートの交換などの総合的な効果として、生き生きと快活なディヴェルティメントについて LINN LP-12 と ThorensTD124 それぞれの味わいを引き出しています。

以上